



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第53号
発行日 R8.3.2

つくば市はどのように変わってきたの？

3年 社会科見学

2月24日(火)・25日(水)午前、3年生が学級ごとに「つくば市谷田部郷土資料館」へ社会科見学に行ってきました。この資料館は、谷田部交流センター3階にあり、郷土の文化財や遺物、古文書などの歴史資料が展示されています(特徴は谷田部を代表する江戸時代の発明家・科学者だった飯塚伊賀七や、谷田部藩の細川氏の展示資料)。

当日は、説明員4名に全体・各グループで説明していただきました。初めに、つくば市ができた1987年当時の話や近隣の話。「みどりの駅」は最初「萱丸(かやまる)駅」だったことや「みどりの南」の地名は昔「片田」だったこと等、初めて知ることばかり。その後、昔の主な産業だった「農業」の道具や生活の知恵や工夫を知り、つくば市や人々の生活の様子の移り変わりについて理解を深めました。



3年の社会科は身近な地域(つくば市)について学ぶため、3年で社会科専門の 沢辺 多加子 先生が様々な見学の計画をしてくれています。

みなみトピックス

これまでの話題から

スーパーのひみつを知ったよ!

3年 社会科見学

去る9月25日(木)、3年生のスーパーマーケット見学が行われました。訪問させていただいたのは「カスミ フードスクエアライフガーデンみどりの店」。学級ごとにバスで移動して見学開始。まずはお店の外で持参したものをリサイクル。そして手を消毒し、マスクを着けて店内へ(バックヤードに入るため)。見学で知った秘密は、「旬の果物は入口へ」「様々な大きさのキャベツはフードロス削減のため」「地元の野菜を多く」「魚・肉・お弁当・寿司などでケースの温度が違う」「オートシャッターがある」等々。身近なスーパーにも大きな発見や学びがありました。



地図から「立体の筑波山」をつくったよ

3・4年社会科「親子地図教室」

10月15日(水)、3・4校時に3年生、5・6校時に4年生が「地図教室『3D筑波山』」を行いました。これは社会科で学ぶ地図の学習の一環で、東京とつくば市の日本地図センターの専門家の方々をお招きして実施しました。筑波山について説明を聞いた後、地図記号のクイズをしたりした後、親子で楽しみながら、等高線に合わせて地図に色を塗ったり、線を引いたりしたものを重ねていくことで、筑波山の形が3Dで現れました。今回は活動内容がやや難しく、学年全体で実施したため、保護者の皆様にもご協力いただきました。お陰様で完成し、充実した学びとなりました。大変お世話になり、感謝いたします。



みなみ
掲示板

【校内でも季節を感じて ～潤いのある環境づくり～】

年間を通して、職員室前に季節の花々が生けられています。これらは、原野教頭が子供たちに季節を感じてほしいとの思いから。春を感じる今日この頃、梅などの花々が子供たちの目を楽しませています。

